

後沢ため池

(うしろざわためいけ)



全景



満開の桜



ため池の概要

□ため池の所在地

山梨県甲斐市

□ため池の特徴

後沢ため池は、昭和14年に大岱せぎ水路などを水源として築造され、以来、甲斐市内の敷島・双葉地域の米作りの基盤となっており、現在でも631haの水田のかんがいに貢献しています。

後沢ため池を核とした矢木羽湖公園では、春には湖周辺の桜が満開になり、また、水辺に広がる梅園の梅の花が満開の頃には、毎年恒例の「梅の里マラソン」が開かれ賑わいます。

地域住民の散策コースや絶好の釣りスポットとしても親しまれているこのため池の景観を守るため、地域の人々も参加の下、草刈り作業・ゴミ拾いなどが行われています。

関連情報

月見が池

(つきみがいけ)



全景



桜が咲く水辺

ため池の概要

□ため池の所在地

山梨県上野原市

□ため池の特徴

月見が池は、鶴川の河岸段丘上にあつて河川からの取水が困難な地域を潤すため、昭和6年に造成されました。大正8年に整備された幹線水路(8,700m)の水を溜め、末端の農地まで配水しています。

ため池周辺には桜やアジサイ・ツツジ等が植栽されており、四季折々に人々を楽しませています。

また、カモ等の鳥類、コイやフナ等の魚類など、多様な動植物が生息する生態系豊かな水辺空間となっており、隣接する上野原小学校では、鳥類の巣箱を設置し、環境学習を行っています。

ため池には、完成時に町の安泰を祈願して弁財天の社が祀られています。毎年7月には多くの参拝者が集まる神社例祭が行われており、その機会に地域の人々によるため池周辺のゴミ拾いも行われています。

関連情報